

清水高原(きよみずこうげん)歳時記（長野県道完走編）

≪長野県山形村≫(やまがたむら)

第20集

（長野県道 1 号線～508 号線）

NO.134 湯田中渋温泉郷の猿

（長野県道 342 号走破）（長野県道 356 号走破）（長野県道 478 号走破）

NO.135 茶臼山恐竜公園

（長野県道 381 号走破）（長野県道 383 号走破）（長野県道 405 号走破）

NO.136 信州ブレイブウォリアーズ

（長野県道 380 号走破）（長野県道 382 号走破）（長野県道 445 号走破）

NO.137 県道62号線沿いで、大船渡の山火事延焼中に山火事発生

（長野県道 62 号走破）（長野県道 464 号走破）

NO.138 坂城インターから国道 18 号線まで（ねずみ大根産地）

（長野県道 91 号走破）

NO.139 ハーモニックロード(高森町)から塩見岳がきれいに見えました

（長野県道 226 号走破）（長野県道 227 号走破）（長野県道 228 号走破）（長野県道 428 号走破）

NO.140 春が待ち遠しい、梅の花の香を求めて元善光寺に

（長野県道 229 号走破）

湯田中渋温泉郷の猿

澤田 繁 著

(長野県道 342 号走破)(長野県道 356 号走破)(長野県道 478 号走破)

2025.1.28 前集(第 19 集)において、渋温泉周辺の散策をしたと記しましたが、それを基に県道 342 号線・356 号線・478 号線について書きます。

「おみやげ処オアシスおぶせ」で気になった「雪猿」(玉村本店)を買いにナビで行く事にした。小布施国道 403 号線を夜間瀬交差点まで進み、右折し夜間瀬川右岸を登って行きました。この道、昔志賀高原に行く時通った道の気がする。今はオリンピック道路の志賀ルート「山ノ内バイパス」が、中野市栗和田ランプから十二橋まで 1996 年に完成しており、志賀高原には、この道を通る。1998 年のオリンピックでは、焼額山スキー場で男女回転・東館山スキー場で男女大回転が行われた。

夜間瀬川の両岸には、湯田中温泉・新湯田中温泉・星川温泉・穂波温泉があり、星川橋交差点付近で、横湯川と角間川が合流して夜間瀬川になっている。直進していくと横湯川に沿う事になり、安代温泉・渋温泉・上林温泉と続く、渋・安代交差点を右折し橋を渡り、段丘を登って行くと、^{くっの}沓野温泉がある地域に着いた。この中を探して、酒蔵「玉村本店」に行きつい

た。駐車場がないので、道路に面し

た倉庫前のスペースに車を止め入店した。外国人が数人試飲をし、店員と話をしていたので、2 階にある「ギャラリー」に行ってみた。ギャラリーの奥に行くと、酒蔵が見えるようにしてあったのでそこを見て写真に撮ったが、カバーが反射して良く写っていなかった(残念)。下に降りていき外国人も去ったので、「雪猿」と山恵錦の生酒を買って店を出ました。



「雪猿」は、長野県産の酒米「山恵錦」100%で醸した、純米にごり酒。通常のにごり酒と比べ、にごりの度合いを 1/10 程度と薄めにする事で、純米のキレに、米の味わいとまろやかさ加わって、適度な飲み応えとなっているとのこと。にごり酒が白くにごっているのは、発酵したもろみを搾る「上槽」という工程で、目の粗い布などに入れて搾り、あえて^{おり}澱を残しているため。

2022.8.23 中野インターから志賀中野有料道路(2025 年 3 月無料開放)を通り国道 403 号線を奥志賀方面に向かうと、夜間瀬交差点から 100m 先に信号の無い交差点があり右折して、県道 478 号線(湯田中停車場線)に入り終点の湯田中駅を目指した。始点の交差点付近は山ノ内町夜間瀬地区の中心地に始まり、400m 程行くと、昭和 30 年まで^{ひらお}平穏町(現山之内町、上条・湯田中・杓野)に入る。集落は上条駅近くから湯田中駅まであり、山ノ内町の中心地に来た感じがした。湯田中駅に到着し駅近くで休憩した(県道 478 号線走破)。湯田中温泉は、駅より東側の方に広がっていて、平和観音通り・かえで通り等があり温泉街となっていた。車で散策し、湯田中駅前から県道 342 号線を走る事にした。

県道 342 号線(宮村湯田中停車場線)は、湯田中駅から高山村までの路線である。駅から坂を下り星川温泉に出て、しばらく夜間瀬川右岸を通り星川橋で川を渡り、坂を登り耕作地が多い扇状地(三沢川扇状地)に出る。オリンピック道路の上を通り、昭和 30 年まで穂波村(現山ノ内町、佐野・寒沢・戸狩)を走った。穂波村役場跡の横を通り、佐野遺跡(中部地方における縄文晩期を代表する遺跡)の所で県道 356 号線と交わり、そのまま行ける所まで行った。集落(寒沢地区)は、結構深くまで続いていて、標高も遺跡の所(約 620m)から、標高 800m くらいまであり、その後集落は途切れ山道に入る。中野市間山に入る所で通行止めになっていた。ここから小池峠を通り高山村の途中までは、車通行不可の区間になっている。



Uターンをし、後日高山村の県道 342 号線を走る事にした。2022.10.18 須坂周辺と七味温泉までを散策した時に、県道 66 号線を七味温泉から須坂方面に向かい、蕨温泉から 250m 行った所が、県道 342 号線の入口(表示もなくわかりづらい)になっている、ここを右折して狭い県道 342 号線の山道に入り。約 1.5 km 進むと、先はさらに細い林道になっていたので、ここで引き返して来ました(県道 342 号線走破)。

2025.1.28 酒蔵から戻り、安代温泉・渋温泉に行き、温泉饅頭を買って、渋・安代交差点に戻ってきました。渋温泉は、昔

から来ている温泉で、熱さのある風呂のイメージが強い、昔は一般の外湯巡りがあり、スキーの帰り等寄ったおぼえがある。又、孫が小さい時にも旅館に泊まり、下駄で温泉街を歩き、途中に、卓球する場所があり、そこで卓球したものである。孫とともに、山の方には「猿の温泉」の地獄谷野猿公苑があり、足を延ばした(2016 年)。渋温泉から横湯



川沿い右岸を車で進み、駐車場に車を止めて 20 数分くらい歩いて、猿が温泉につかっている所まで行き着いた。<1950 年代、志賀高原を源流とする横湯川の下流周辺に、農作物へ被害を与えたことから駆除される予定のニホンザルたちがいました。しかし、それは戦後の林業や開発によって、す



川沿い右岸を車で進み、駐車場に車を止めて 20 数分くらい歩いて、猿が温泉につかっている所まで行き着いた。<1950 年代、志賀高原を源流とする横湯川の下流周辺に、農作物へ被害を与えたことから駆除される予定のニホンザルたちがいました。しかし、それは戦後の林業や開発によって、す

みかや食料を失ったサルたちでした。当苑の初代苑長・原莊悟は"サルたちを山中に留め、人間とのトラブルをおこさないようにする"ため、3年がかりで餌付けを成功させ、人里離れた**地獄谷**に当苑をつくりました。

2025.1.28 渋・安代交差点から再び橋を渡り、杳野温泉横を通り、国道 292 号線（オリンピック道路）の下をくぐり県道 356 号線に出ました。県道 356 号線（角間中野線）は、2022.8.23 に県道 342 号線から戻って来て、とりあえず終点の角間温泉を目指した。角間温泉は、3 軒の共同浴場と 5 軒の旅館があるようだ、県道 356 号線は、どこが終点だかわかりづらかったが、奥の旅館「角間荘」まで行き、ここを終点とした。ここから 356 号線に沿って下って行った。上記のオリンピック道路をくぐって来た道と一緒に、扇状地を下って行った。部分的に、2 回目の道となった県道 356 号線を佐野遺跡まで行き、そこから佐野角間インターチェンジからオリンピック道路に入り、1km 先の「道の駅北信州やまのうち」で休憩した。以前に秋に来た時は、くだものが豊富に店頭に並んでいて、特にりんごが多く、知らない種類があり、見て楽しんだがいまだ食べる挑戦はしない。この後、中野市栗和田ランプで降り国道 403 号線に戻った。



2022.8.23 佐野遺跡から県道 356 号線のつづきは、そのまま下って行き、箱山温泉の横を通り、箱山のまわりをまわり、オリンピック道路の上を通り山沿いの道を進むと、山が途切れた所に国道 403 線があった。そのまま進むと県道 355 号線になり、右は夜間瀬方面、左は中野市街に行っている（県道 356 号線走破）。

《長野県山形村》(やまがたむら) 2025.2.11

茶臼山恐竜公園

澤田 繁 著

(長野県道 381 号走破) (長野県道 383 号走破) (長野県道 405 号走破)

2025.2.11 千曲市の娘の家に寄り少し長く休憩し、帰りは国道 19 号線を帰りました。まずは昭和 34 年から 41 年まで篠ノ井市(篠ノ井町・東福寺村・川柳村・共和村・信里村・塩崎村・杵淵/西寺尾)であった所に入り、布施五明地区の新興住宅街があり、道もいいので進んで行き、住宅と道は続くが先が行くところがない？

(前に行って懲りた) 手前の信号を右折し、北五明交差点を左折した。しばらく北上すると篠ノ井岡田地区に入り、左手に「恐竜口」の案内があった。「茶臼山恐竜公園」には、前に行った事があり、現在は、動物園等いろいろな施設もあり、実物大の「恐竜」も 25 体あるようだ。駐車場も結構あり、県道 86 号線から行く南口には 171 台、県道 383 号線から行く恐竜口には 350 台、北口には 114 台となっている。

県道 383 号線(犀口下居坂線)は、北五明交差点を左折しないで進むと、起点である一之坪交差点(布施高田下居坂)に出る。ここから北上し、すぐ昭和 29 年まで共和村(岡田・小松原)だった所に入り、県道 381 号線との交点である三差路の犀口交差点(信号無)まで、旧共和村を走る路線であり、川中島平の西縁を通る。今日は、この県道を途中から通り、県道 381 号線



との三差路を左折し、両郡橋交差点から国道 19 号線に出て帰宅した(県道 383 号線走破)。

2022.2.22 自宅から国道 19 号線を走り、両郡橋交差点を右折し県道 381 号線(小松原川中島停車場線)に入り、川中島駅までを目指した。昔は良く利用した道だが、今は 19 号線バイパスが開通し、ほとんど通らない道である。途中東飯田酒造店により「本老の松」を買った。なお西飯田酒造「信濃光」が手前にあり、この次は寄りたいと思いました。川中島駅(川中島上氷鉋)に到着し、県道 380 号線を下氷鉋まで走り、川中島駅まで戻って来た。駅から小市橋南交差点までは、県道 405 号線(川中島停車場線)と県道 381 号線の重複区間であり、小市橋南交差点を右折し、犀川に架かる小市橋を渡り、住宅地と犀川の間(今は犀川まで住宅地となっていた)を走り、小市交差点で国道 19 号線に出た。この日は千曲市の娘の家により帰宅した(県道 381 号線・県道 405 号線走破)。



《長野県山形村》(やまがたむら) 2025.2.18

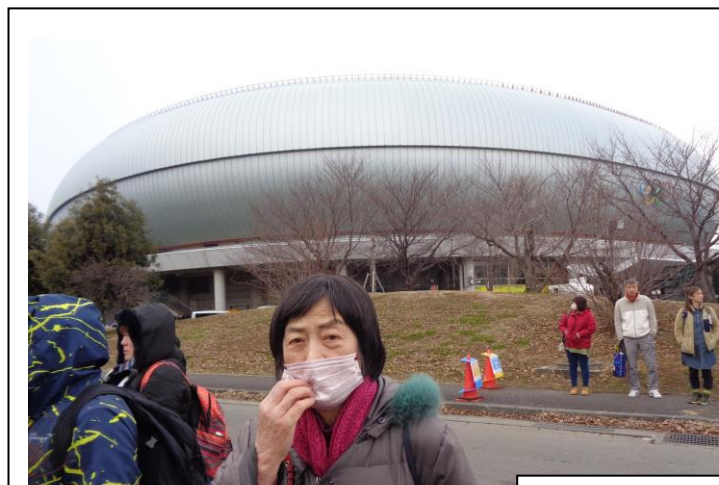
信州ブレイブウォリアーズ

澤田 繁 著

(長野県道 380 号走破) (長野県道 382 号走破) (長野県道 445 号走破)

2025.2.18 今日は、初めてプロバスケットを見に行きます。自宅から松本インターに乗り、途中松代サービスエリアで、お焼きを買い軽い昼食をとり、長野インターで降り、県道35号線を北に向かいすぐに、シャトルバスが出る「旧おぎのや駐車場」に着きました。

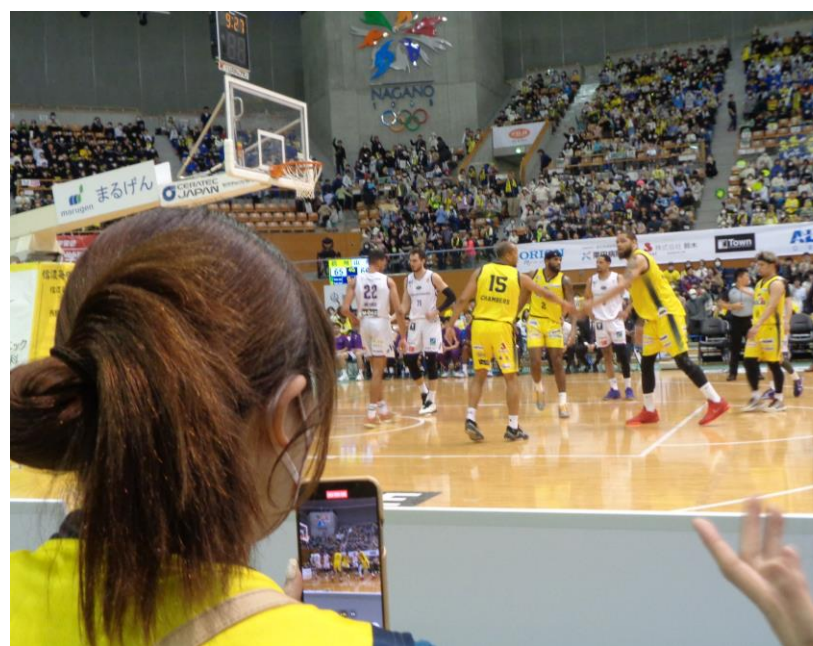
シャトルバスに乗り、県道35号線⇒古戦場入口交差点⇒国道18号⇒大塚南交差点⇒県道372号⇒ホワイトリング入口⇒市道⇒ホワイトリングの道順、10分くらいで着きました。13時5分ティップオフ(試合開始時間)の1時間前には席に着きました。既に練習は始まっていて、



その後、ティップオフまでいろいろ順番に進んで行き、いよいよ開始しました。今日はキッズデーということで長野市内の小中学生が招待されていて、試合中の出入りが激しく、人数の多い時の音量はすごかった。コートサイドでの観戦でしたので、キュキュ音が、まじかで聞こえ臨場感あふれる体験が出来ました。試合は信州ブレイブウォリアーズが89-83で山形ワイブアンスに逆転で勝ちました。

旧おぎのやの通りを挟んで向かいが、女房の実家があった所で(現在は弟の旧きこ工場)、中学校は、松代中学校に通っていた。キッズデーで松代中学校も招待されていて、なぜか娘(今年から松代中学に赴任)も引率で来るようになっていた。どこに来るのか分からず探していたら、すぐ後ろの2階席に来たので手を振って写真にとったが、あまり良く写らなかった。

帰りもシャトルバスで同じ道順で、旧おぎのや駐車場まで戻って来ました。県道35号線を松代市街方面に、市街を少し回り、国道403号線に出て金



井山駅跡に向かいました。金井山駅は、女房が高校時代に須坂に通った河東線(2012年に廃線)の緊急駅(通常は松代駅から乗車だが、遅れた時に自転車で松代駅から一つ先の金井山駅に来たようだ)だった。金

2021.1.26 と 2022.2.22 の 2 回に分けて、県道 380 号線（関崎川中島停車場線）を走りました。国道 403 号線の千曲川と山が迫っている場所（関崎の渡しがあった所）にある関崎東詰交差点（県道 380 号線始点）から関崎橋を渡り、旧真島村に入る。前渕交差点で県道 445 号線と分岐して、国道 18 号線/国道 117 号線と大塚交差点で交わり、昭和 30 年まで青木島村だった大塚地区に入りました。大塚交差点を左折すれば、国道 18 号線単独を行く事になり、直進すれば、国道 117 号線と県道 380 号線の重複路線を行き事になる。今回は直進して長野日本無線の横にある下氷鉋交差点（国道 117 号線と分岐）まで進み、旧稲里村の下氷鉋地区を通り、旧稲里村の中氷鉋を経て、旧川中島村の上氷鉋地区にある終点の川中島駅に至った（県道 380 号線走破）。

《長野県山形村》(やまがたむら) 2025.3.4
県道62号線沿いで、大船渡山火事延焼中に山火事発生
(長野県道 62 号走破) (長野県道 464 号線走破)

澤田 繁 著

2025.2.28大船渡の山火事のニュースを見ていたら、山梨県大月につづき長野県上田でも山火事が発生したとのニュースが飛び込んできた。その日から気になって見ていたら、3月3日の午前10:45に鎮火したとの発表があったのでほっとしている。経過として、上田市武石上本入で続いている山火事。発生から一夜明け、地上からの消火活動は消防車両57台と220人の態勢で行われました。また陸上自衛隊のヘリ3機と富山、岐阜、静岡県消防防ヘリ3機が出動し、空から消火を行いました。3月2日午前11:20ほぼ鎮圧状態になり、翌3日に山に入った消防から現場の状況を確認し、71時間後の鎮圧の発表に至った。約100ヘクタールが焼失した。(大船渡の山火事は、2900ヘクタールを焼失し、2月26日～3月5日には恵みの雨が降り、鎮圧<3月9日>から鎮火の作業に移っている)。



2020.8.18 自宅から途中用事を済ませながら浅間温泉に着き美鈴湖をとりあえず目指した。美鈴湖までは、4つのコースがあり、今日は「A」コースで行きました。入り口はわかりづらいが、浅間温泉北側の道の三差路を神宮寺駐車場の方に行くとところで、後は正面に神社が来るので、そこを左に行くとすぐに山道に入る道である。美鈴湖のすぐ上に、かつては、料金所があり、そこから美ヶ原スカイラインがはじまり、武石峠・県道62号線合流地点に至る、延長約11.5kmの林道・美ヶ原線の通称である。元有料道路だったが、ビーナスラインの無料開放に合わせて2002年4月20日より無料化されている。当初の計画では、ビーナスラインの延長で浅間温泉に下る予定であったが、環境問題運動により、寸断された状態になった。



美ヶ原スカイラインは、若い頃に、浅間温泉スキー場があり、2 回行った記憶がある。このスキー場下からは袴越山付近の位置で、雪質はパウダースノーのスキー場であったが、今はない。ネットで調べて見ると、『袴越山の北斜面にあり、リフト1 基（450m）とロープトウ1 基があったとの記録があるから、それなりの規模ではあったのだろう。当時のスキー場ガイドを見



るとリフトに沿って、初級ファミリーゲレンデ・富士見台ゲレンデ・ダイレクトコース・中央ゲレンデ・林間コースなどが平行してあることが記されている。』

（写真では道横にリフトの後が残っている）。美ヶ原スカイラインを登りきると武石峠に出た。ここから県道 62 号線（美ヶ原公園武石沖線）に入る。まずは美ヶ原高原方面に緩やかな尾根道を登っていくと、終点の駐車場に着いた。駐車場からテレビ塔のある王ヶ頭（2034m）までは一般の人は徒歩で登るしかありません。このテレビ塔は、松本市街からは手前の王ヶ鼻

（2008m）が邪魔になって見る事が出来ませんが、現在では、王ヶ鼻にもいくつか塔が建っているのが見えます。テレビ塔は、昭和 33 年（1958 年）に NHK（開局は 1 年前）と S B C（信越放送）が最初であり、その後、昭和 44 年（1969 年）に N B S（長野放送）、昭和 55 年（1980 年）にテレビ信州、平成 3 年に a b n（長野朝日放送）が開局に合わせ合せて建てられました。

美ヶ原は、長野県のあちこちより見られる山ではあるが、場所によって容姿が著しく違うのも特徴である。写真は、山形村「竹田の里」（地場産品直売所）近くから写した写真で、王ヶ頭・王ヶ鼻が良く見える。美しい塔（鐘を備えている）で代表されるように、霧も多く発生し、また方向を示す磁石が効かない場所があり、大きな遭難も発生している。塩くれ場は、古くから広い平らな台地を利用した放牧地であり、現在も放牧がおこなわれている。



王ヶ頭を駐車場から眺め、U ターンをして、県道 62 号線を武石峠まで戻ってきました。この日は、この先は工事中で通行止めになっていたの、仕方無く美ヶ原スカイラインを通り美鈴湖まで戻り、三才山集落方面「D コース」に降りました。国道 254 号線に出て「三才山トンネル」方面に登って行きました。

国道 254 号線を長和町まで進み、長和町 2 か所を散策し昼食も済ませ、再び県道 62 号線を目指しました。国道 254 号線に戻り、武石口交差点から県道 62 号線に入りました。県道 62 号線は、ほとんどが 2006 年まで武石村であった所を通る路線である。武石村は現上田市となっていますが、縄文時代には、近くに「黒曜石」が採掘され、多くの人の交流があった村、記録に残っているだけで、室町時代から自治体として約 700 年有余に及んだ村である。地域としては、62 号線に沿って沖・鳥屋・下武石・上武石・下本入・上本入があり、更に沿線にはない余里・小沢根地域がある。武石口から武石川の扇状地を登っていく、上武石の武石川



を越えると谷合の道になり、下本入地域を 2km 程走ると上本入地区に入り谷合の道（道の両側には耕作地もある）はつづき、県道 464 号線との交点に至る。

県道 62 号線のこの先は、県道 464 号線も含め、若い頃この辺の峠道（まだ未舗装時代を含め）走った記憶があるので、この日と現在の状況から、災害復旧工事による全面通行止め（番所ヶ原スキー場から武石峠までの 7.1 km）が実施されており、復旧時期は当面の間となっているので、かなりかかりそうであるので、ここで県道 62 号線走破とする。なお番所ヶ原スキー場までは冬でもいけるので機会あれば走って見たい。又県道 464 号線もここから県道 62 号線と重複しており、武石峠手前約 1km で分岐し、三才山トンネルの料金所があった場所近くまで降りて行く道であるが、結構前から全面通行止めになっている（多分復旧はしない）ので、合わせて県道 464 号線も、ここから美ヶ原高原美術館までを残して走破とする。

県道 62 号線と県道 464 号線の交点を左折し県道 464 号線に入りました。交点の標高が 1080m でここから県道 464 号線の終点でもあり、県道 460 号線（ビーナスライン）の起点でもある「美ヶ原高原美術館」近くの標高 1900m 地点まで一気に登る道となる。標高 1700m を越えると尾根道が多くなり、白樺の木が道の両端に目立つようになる。又ところどころに唐松の植林がされた場所もあり、戦後の人のエネルギーが感じられるが、標高 1000m のところと比べると成長は著しく低い。美ヶ原高原美術館に着き休憩しながら、入館はせずに建物（写真・右端が浅間山）の入る所をぶらぶらした。この日は県道 460 号線（ビーナスライン）で扉峠まで行き、三城牧場から松本まで行き帰宅した。



歳時記ホームはこちら <http://www.go.tvm.ne.jp/~sawada/saijiki/saijikihome.htm>

《長野県山形村》(やまがたむら) 2025.3.11

坂城インターから国道18号線まで(ねずみ大根産地)

澤田 繁 著

(長野県道91号走破)

2025.3.11 アイシティーで孫へのバレンタインのお返しと3階で東北物産展をやっていたので「ずんだ餅」と「牛タン」を買って、松本インターから坂城インターまで高速自動車道で行き、坂城インターから県道91号線(坂城インター線)で坂城の街に降りて行きました。このあたり国道18号線は千曲川近くを走っており1部は北国街道と重複している。降りていくと坂城来ると目立っている三角の山(自在山)が見え、国道18号線に出ました(県道91号線走破)。

このあたりが中之条地区で、「ねずみ大根」の産地である。「身にしみて大根からし秋の風」こちらは、埴科郡坂城町中之条の西念寺入口にある松尾芭蕉(更科紀行より)の句碑です。江戸時代の俳人・松尾芭蕉(1644~1694)が、坂木宿のご本陣で「中之条大根」(辛味大根)のしぼり汁をつけ汁とした「おしぼりうどん」を食した時のことをよんだものかどうか。そんな「中之条大根」の進化系とも言われるのが「ねずみ大根」(信州の伝統野菜)となる。第8集「NO.52」で紹介したおしぼりうどんの、食べられる所を新規開拓のつもりで、県道160号線沿いの坂城駅近くの



「長寿庵」に行ってみました。店の前に2台程止められる駐車スペースがあり、昼は食堂・夜は居酒屋風の店で、うどん道場・讃岐うどん等がのれんに書かれてあったので期待して入りました。ひさしぶりの「おしぼりうどん」は、十分私にとっては辛さを堪能しました。



おしぼりうどんを食べて腹ごなしに、ひな人形を見るに、すぐ近くの「坂城町鉄の美術館」に立ち寄りしました。何度か来ている所ではあるがひな人形展は、初めての気がする。館内に入り、享保ひな(享保雛は江戸時代に京都で生まれた豪華で大きい雛人形で、男雛と女雛の衣裳や装飾が豊富で細工が高い)を見たりした。ついでに常設展示の刀剣を、あらためて見学した、刀剣は、「人間国宝・宮入行平」から始まる昭和



以降の作品であり、刀匠の町坂城は、宮入行平さんから始まった町で、館内にパンフレット「宮入小左衛門行平(宮入行平の次男)一門」新作日本刀頒布会を見ると、納期は1年くらいで、刀匠名(6名)・作品(刀/太刀/脇差/短刀/その他)・^{しらえ}拵有無(きまりの銘『刀匠名・年紀』の他の希望銘)・予算(①100万~199万

②200 万～249 万③250 万～299 万④300 万～⑤検討中⑥参考価格を聞きたい)、等を書き申込書の記入するスタイルである。それより以前の鉄の町の歴史としては、坂城町は戦国時代の名将、葛尾城主村上義清の活躍した歴史の町です。町内にはこの義清時代頃と思われるたたら製鉄炉が2基確認されてい



る。鉄の展示館を出て、県道 160 号線走って、国道 18 号線を渡り、千曲川を越えてからすぐに左折し町道に進み、国道 18 号線の坂城更埴バイパスの坂城区間の工事進捗状況を見たくて進んで行くと、盛土が続いている所に出ましたので、ここで写真を撮ってから、盛土に沿うように近くの町道を県道 160 号線の方に戻って来ました。盛土はないが、この先の用地が路線確保されていたので、県道 160 号線を突っ切り進んで行くと、よく通る県道 77 号線の「TAKEUCHI」の前に出ました。このバイパス完成予定年は出ていないが、少なくとも数年先の気がするがどうか？



この日は、県道 77 号線を使い、千曲市の娘の家に、アイシティーで買った物を届けて帰宅した。家に帰り「TAKEUCHI」何を作っているのか調べて見ました。主要製品としてミニショベル・油圧ショベル・クローラーローダー・クローラーキャリアとありました。

歳時記ホームはこちら <http://www.go.tvn.ne.jp/~sawada/saijiki/saijikihome.htm>

又は澤田繁のホームを検索し、ホーム⇒歳時記

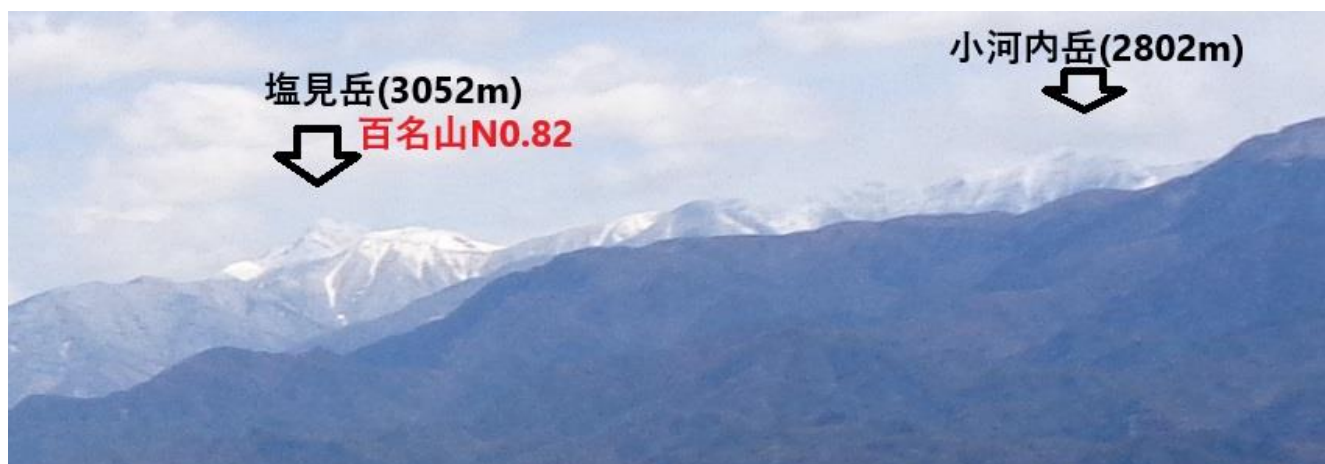
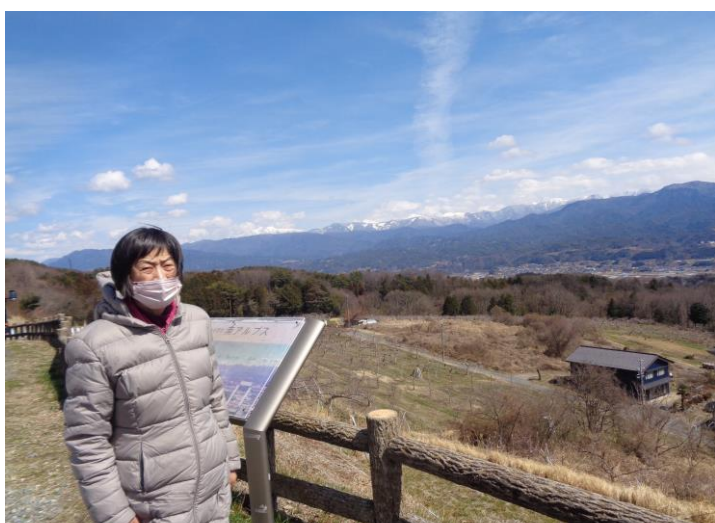
《長野県山形村》(やまがたむら) 2025.3.18

ハーモニックロード(高森町)から塩見岳がきれいに見えました 澤田 繁 著

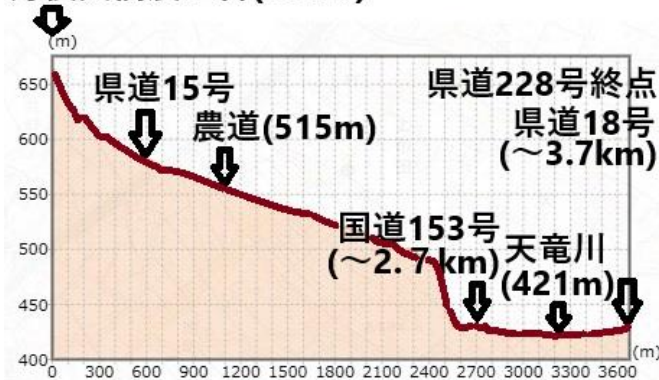
(長野県道 226 号走破)(長野県道 227 号走破)(長野県道 228 号走破)(長野県道 428 号走破)

2025.3.18 松川インターで降りてすぐに県道 15 号線に入りました。この県道 15 号線は、りんご等のフルーツの木が多い所で、松川町・高森町・飯田市と三州街道の県道でもあり、中央高速と平行して走っている。みおぼえのあるフルーツ直売所を通り、高森町に入ると、高森町の北側を走る県道 428 号線の終点との交差点に来ました。この交差点を右折し山(中央アルプス)の方に登っていくと耕作地と集落は続いており交差点から 1.2km 程のところを左折すると「ハーモニックロード」は始まった。右手はゴルフ場で、左手は、伊那盆地を見下ろすとともに、雪の南アルプスが雪のない伊那山地の上にとろどころ見える道で、展望台も 3 か所あった。青木ヶ沢展望台は右手(山寄り)のため見過ごしてしまいました、次の月夜大橋展望台に車を止めて休憩した。

展望台からは、宮田村で見た百名山の仙丈ヶ岳(NO.78)・北岳(NO.80)・間ノ岳(NO.81)が見え、その稜線に続き「塩見岳(NO.82)」がきれいに見えました。もう少し走れば赤石岳(NO.84)が見えるかもしれないと期待を持ちながら「ハーモニックロード」を走りました。この道山麓路線で耕作地も集落もあり、登ったり降りたりが頻繁に来る道路で



月夜大橋展望台(664m)



もあったが、終点の「信州たかもり温泉湯ヶ洞」に着いたが休館であったので、そのまま国道 153 号線まで下る事にした。高森町南の「湯ヶ洞街道」を通る予定であったが、途中工事中で通れないため、いつも通る坐光寺スマートインターから下る道を使い、途中「畦地 1 号古墳」を見に狭い道を通り「湯ヶ洞街道」に出た。この日は、国道を右折し、リニア新幹線の進行状況や元善光寺の梅の花を観賞して帰った。

高森町は、1957 年（昭和 32 年）に、山吹村と市田村が合併して出来た町で、市田柿で知られる町である。旧市田村には、上市田・下市田・吉田・牛牧・出原・大島山の地域があり、旧山吹村は高森町の北側部分の東西に広がる地域になっている。高森町南北を走る主な道として県道 15 号線と県道 18 号線、国道 153 号線と伊那南部広域農道の 4 本があり、高森町には、東西に走る県道として、中央アルプス麓を走る県道 15 号線と天竜川左岸を走る県道 18 号線を結ぶ 2 路線がある。一つは、県道 228 号線+県道 227 号線で、一つは、県道 226 号線+428 号線である。

2020.12.8 松川インターから大鹿村に行き、戻って県道 22 号（第 14 集 NO.95）を走り、県道 18 号線に出て、松川町から豊丘村に入り、県道 228 号線との交点の田村交差点から県道 228 号線（市田停車場線）に入りました。豊丘村の中心地を通り、天竜川に架かる明神橋を渡り高森町に入りました。ロータリー交差点を抜け、飯田線の踏切を渡り左折し市田駅に着きました（県道 228 号線走破）。



この日は飯田市松尾地区に行き、千代インターから帰宅した。

2022.1.25 飯田山本インターで降り、飯田市の南部を散策し、天竜川に架かる弁天橋で県道 18 号線に出て北上し、県道 228 号線を通り市田駅に着いた。県道 227 号線（市田停車場上市田線）の市田駅をスタートし線路沿いを 100m 程行き左折し、国道 153 号線との交点の出砂原交差点を直進すると、大島川に沿って河岸段丘を登り、その後も緩やかな耕作地と家のある平地を登って行くと、県道 15 号線との交点の上市田交差点に出る（県道 227 号線走破）。その後松川インターから帰宅した。

2021.3.9 飯田インターで降り、南信州の遠山郷方面に行き、県道 251 号線を使い飯森町下市田で国道 153 号線に出て、国道を北上し山吹交差点に到達。左折し県道 226 号線（市ノ沢山吹停車場線）を山吹駅までいき、山吹駅からは、県道 428 号線（山吹停車場線）に入りすぐに、沢沿いの河岸段丘を登る道をはしり、段丘の上に出た後は、緩やかな登りの耕作地が続き、伊那南部広域農道を直進してからは、右側に山が迫り左側に狭い耕作地がある緩やかな登りの道に変わり、右側の山を抜け、県道 15 号線との交点に到達した（県道 428 号線走破）。その後松川インターから帰宅した。

2022.1.18 駒ヶ根インターで降り、飯島町から県道 218 号線を使い県道 18 号線に出て、県道 18 号線を南下し、豊丘村に入って 2km 程行った三差路（県道 226 号線始点）を Uターンする形で 226 号線に入りました。少し下って天竜川にかかる万年橋をわたり高森町に入り、台城公園（第 10 集 NO.69）の下を通り河岸段丘に沿って少し走り、国道 153 号線との交点の山吹交差点に出た（県道 226 号線走破）。その日は国道 153 号線を北上し、鶴部交差点から県道 224 号線で松川町にある飯田線上片桐駅に寄り松川インターから帰宅した。

《長野県山形村》(やまがたむら) 2025.3.18

春が待ち遠しい、梅の花の香を求めて元善光寺に

澤田 繁 著

(長野県道 229 号走破)

2025.3.18 前回からのつづきで、国道 153 号線を南下し、リニア新幹線の駅の工事を見ながら北条交差点を左折し県道 229 号線に出て、元善光寺まで梅の花を見に行きました。元善光寺は第 6 集 NO.41(2024.1.9)でお詣りし、書きました寺ですが、ニュースで梅の開花をやっていたので、寺の横の梅のみを見に来ました。そのとき「座光寺まんじゅう」を店が休みで買えなかったので花見のあと買ってたべました。



県道 229 号線(市場桜町線)をもう一度走って見ることにしました。元善光寺から座光寺駅方面に行くと県道 251 号線との交点になる。ここが県道 229 号線の始点のようだ。ここから戻って「座光寺まんじゅう」の吉丸屋さんの前と元善光寺の前を通過し、踏切までは狭い道が残っている。踏切を渡り「河岸段丘下」沿いに進むと、段丘の登り道になる。登った所が「飯田高校」の前になる。この道は市街地を走っており交通量もあった。座光寺は昭和 31 年(1956 年)までは、座光寺村(現在は飯田市)であったところで天竜川から中央アルプスまでの東西に長い村であった。ほとんどは、平成 5 年まで上郷町であった部分のところを走っており、野底川を越えて旧飯田市にはいり、桜町 1・2 丁目交差点で終点となる(県道 229 号線走破)。

上郷の由来は、・城下町・飯田の上(北)にある郷(村)という意味である。この地域は江戸時代から上郷

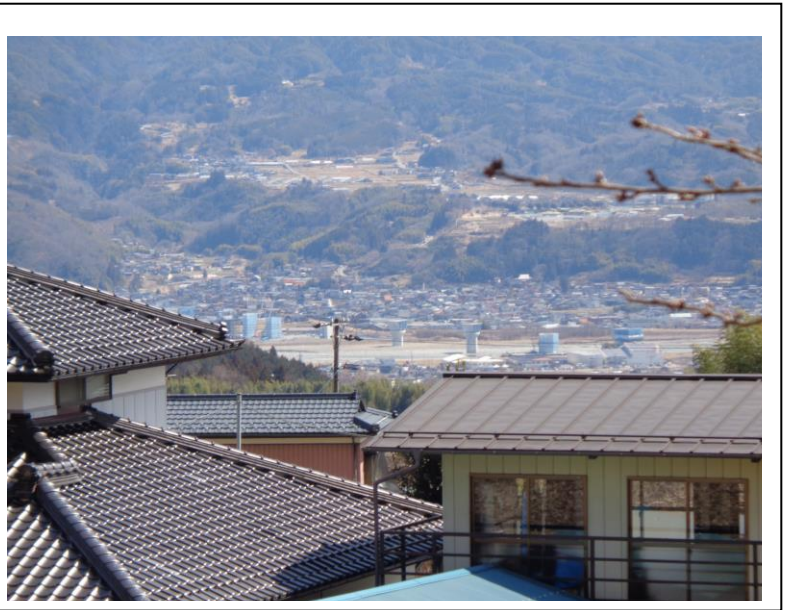
（かみごう）と呼ばれてきたが、1875 年（明治 8 年）に合併した際に読みを「かみさと」に変更した。町制がしかれたのは、昭和 45 年（1970 年）からであった。この日は、県道 15 号線（新）から伊那南部広域農道を通り、松川インターから帰宅した。

リニア新幹線の工事の進行状況は、天竜川に架かる橋は、橋脚はほとんど完成しているように見える。この写真は、前作の地図の畦地 1 号古墳付近から撮影したもの。

ネット上にて、完成予定を調べて行くと、早くて 2034 年度以降と出てきた。最初の予定が 2027 年度であったので、ひょっとしたら一度乗車できるかと思ったが？。現時点でのそれぞれの完成予定は、長野県駅・山梨県駅・岐阜県駅が 2031 年、飯田市及び喬木村の施設は、天竜川橋梁（写真右）他・阿島橋北高架橋他が 2029 年、座光寺高架橋他が 2031 年となっていた。長野県駅～山梨県駅までのトンネル

は、伊那山地 2029 年・南アルプス（長野工区）2030 年・南アルプス（静岡工区）**未定**となっていて、長野県駅～岐阜県駅までのトンネルは、中央アルプストンネルが 3 工区で 2029 年～2031 年、風越トンネル（長野県駅を出てすぐ入るトンネル）はシールドマシン（掘削機）による掘削開始を 2028 年度の冬ごろとし、完成時期を示せていない。

駅前周辺の開発を含めて、駅位置と周辺の写真を撮ってきました。手前には国道 153 号線で西方向を撮っています。用地の確保は出来きつつのようで更地が多くなっていた。西の山は河岸段丘の山で奥に中央アルプスが見えています。タイミングよく、ニュースで「駅周辺の街を 2028 年から開設する、そのために、よりよい街づくりのため計画を見直しが始まった」との事。リニア開業が大幅に遅れているが、長野県南信にとって大きな期待となっているのは明らかだと感じた。



歳時記ホームはこちら <http://www.go.tvn.ne.jp/~sawada/saijiki/saijikihome.htm>

又は澤田繁のホームを検索し、ホーム⇒歳時記